



介護と予防 パーキンソン病と 福祉用具の選定ポイント③ 住環境整備編

今回も**パーキンソン病の症状**と、それに伴う**選定ポイント**についてご紹介いたします。

パーキンソン病は脳内でドーパミンという物質が減るために、脳から体への指令がうまく伝わらなくなる進行性の病気です。

パーキンソン病の4大症状

1 振戦

手足が規則的に震える



2 筋固縮(筋強剛)

関節を動かすと抵抗感を示す



3 無動

動きが鈍くなり一つの動作開始に時間がかかる



4 姿勢反射障害

転倒防止が困難



その他にもパーキンソン病では次のような特徴がみられがちです

不安・不快・緊張などの状態だと体が動きづらくなる



安心・快適・リラックスなどの状態だと体が動きやすくなる



動作のきっかけがあると“体が動きやすくなる”という特徴があります。

例えば…
目印があると
歩き出しやすい
ないと
一歩目が出にくい



そのため、このような配慮が必要でしたね

姿勢が崩れると戻せず転倒しやすいので
開き戸よりも引き戸が有効



開き戸は後ずさりのときに転倒しやすいです。



座位が不安定になりがちな便座の上では、
体を両側から支えるトイレ手すりが有効



片手すりだけでは拭きとりや着脱衣がしづらいことも。



不安、不快、苦手などの感情を持ちにくい
入浴環境整備

シャワーチェア

やわらかく、冷たさを感じにくいクッション



すべり止めマット

転倒防止だけでなく、「すべるかも」という恐怖心も軽減



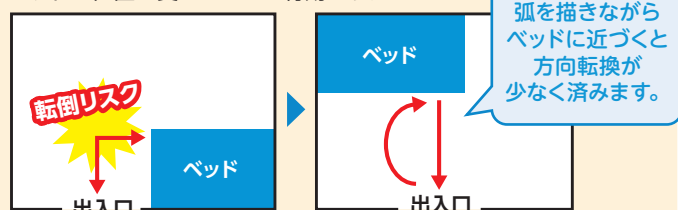
では今回は**室内の環境整備**についてポイントをご説明しましょう。

就寝環境



- ベッドの方が、床に敷いた布団よりも立ち座りしやすくなります。
- 端座位姿勢（ベッドなどの端に座った姿勢）が崩れにくいよう、
- 端がかためのマットレス
- ベッドグリップなどの支えがあるとよいでしょう。

方向転換時に転倒リスクがあるので、ベッドの位置を変えることも有効です。

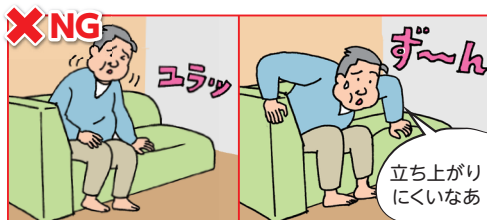


どうしても方向転換の必要がある場合は、

- 支えとなる手すりなどを用意し
- できるだけ方向転換の角度をゆるやかにするとよいでしょう。



ソファ



ソファはやわらかいので、座位姿勢が崩れやすく、立ち上がりもしづらくなります。



面タイプの手すりを置くと、握らずにリラックスして姿勢を保ちやすく、立ち上がりやすくなります。

支柱が1本だとソファに差し込みやすいです。



詳細は「介護・生活快適商品カタログ2018-2019」をご覧ください。

上記品揃え以外も取り揃えております。

ご用命は

玄関

スロープだと 一段目が出にくい
段だと 足が出しやすい



パナソニックの玄関手すりは

- 工事不要で置くだけで設置可能
- 手すりの角度を起こせるので、脇をしめて昇降しやすい



脇をしめて昇りやすい

脱衣場



写真の商品は、折りたたみ可能な面手すりスタンディ

- 衣類の脱ぎ履きの際にふらつき、転倒する危険性があるので、手すりなどの支えを用意しましょう。
- タオルバーを支えにしがちですが、そこまで強度がないので要注意です。
- 脱いだ衣類を拾うときの立ち座りには、面のある手すりを使うと
 - 力を入れやすく
 - 動作も安定しやすく
 - 安心感もあります



すっきり手すり クリンディ

今回は

COPD

※慢性閉塞性肺疾患

(肺機能の低下で呼吸がしづらい症状)

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

法人のお客様 製品・在庫に関するお問合せ TEL06-6908-8141
個人のお客様 製品に関するお問合せ

0120-365887 受付 | 9:00~12:00/13:00~17:00
時間 | (土、日、祝日休み)

このチラシの記載内容は2019年6月現在のものです。